

清流 ニュース

発行所
〒192-0904
八王子市子安町 1-22-25
清流 寺
清流ニュース編集室
電話 (042) 646-0287(代)
FAX (042) 644-1164
http://seiryuji.jp.org/

令和6年度総祈願

本年度教化普願達成・学徒・教務員増加
日序上人御廿七回忌・日鏡上人五ヶ年報恩ご奉公
寺内・境内整備ご有志奉納推進 工事無事着工
甲乙御講席主・願主増加・共連れ参詣促進 二公体体制再構築
お助行御法門聴聞励行・教養会内容充実・役中後継者養成

二月の御総講日

一日 九時半 御修行日
七日 十時 パースデー総講
十三日 十時 高祖御命日
十七日 十時 開導御命日
於 清流 寺
十二日 十時 高祖御速夜
十六日 十時 開導御速夜
廿八日 十時 歡尊御命日
於 羽 村 別 院
晨尊御命日

特別行事

廿五日 門祖日隆聖人
御開山会式

晴天祈願

十八日〜廿四日迄
第一座 六時〜七時半
第二座 九時半〜十時半

会議

一日 御総講後 役中会議
十日 二時 参事会

2月25日
10時30分

門祖日隆聖人御開山式 奉修導師当山住職 長谷川日迪化主

来る廿五日(日) 十時
三十分開始にて、本年度の
門祖会が奉修されます。

奉修導師は、当山住職・
長谷川日迪化主です。

さて、門祖日隆大聖人
は、南北朝時代の至徳二年
(一二八五) 十月十四日にご
誕生され、長じて、伯父で
ある、日存上人、日道上人
をたよりに京都・本心寺(本
能寺)に入寺されました。

高祖大士のみ教えを忠実
に護り、法華経本門八品の

来る廿五日(日) 十時
三十分開始にて、本年度の
門祖会が奉修されます。

奉修導師は、当山住職・
長谷川日迪化主です。

さて、門祖日隆大聖人
は、南北朝時代の至徳二年
(一二八五) 十月十四日にご
誕生され、長じて、伯父で
ある、日存上人、日道上人
をたよりに京都・本心寺(本
能寺)に入寺されました。

高祖大士のみ教えを忠実
に護り、法華経本門八品の

来る廿五日(日) 十時
三十分開始にて、本年度の
門祖会が奉修されます。

奉修導師は、当山住職・
長谷川日迪化主です。

さて、門祖日隆大聖人
は、南北朝時代の至徳二年
(一二八五) 十月十四日にご
誕生され、長じて、伯父で
ある、日存上人、日道上人
をたよりに京都・本心寺(本
能寺)に入寺されました。

同帰亭要語録

法悦

喜し給ふなるべし。

(持妙法華問答抄 474)

釈迦一仏の悦び給ふのみならず。諸仏出世の本懐なれば十方三世の諸仏も悦び給ふべし。我即ち歡喜す諸仏も亦然なりと説かれたれば、仏悦び給ふのみならず、神も即ち隨

「持子奉ルトハ受持也。受持トハ口唱也。」
と示されてありますから本門法華経を持つというのとはお題目を唱えるという事に外なりません。そこで、この御妙判は「南〇經と唱へる時は釈迦仏のみならず、諸仏も皆悦ばれ、守護の諸天善神も隨喜される。諸仏の使命は法華経を説くことであり、諸天善神の

つとめは口唱の行者を守ることである。」
という事を示されたのであります。仏様に喜んで頂けるような御信心が出来れば所願成就は疑いのないところであります。御信者にとって「お題目の口唱」は修行の根本であり、欠かしてはならぬことであり、道の如きものであり、闇夜における灯りの如きもので

あるということを左の如くお示しであります。
「道ハ暫クモハナルベカラズ、離ルベキハ道ニアラスト。闇夜ニ灯火ハ、ハナツベカラズ。常ニ歩キナレタル道ダニモ灯火ナクテハ人ニ行キ当タリ、久シク通ラヌ道ニハ池モ出来、穴モ掘レタリ。サレバ落ルアヤマチ必ズアルナリ。大法又カクノ如シ。ローソクヲ懐ニストモ、トモザル時ハクラシ。

受持スレドモ口唱セザレバ利生顯ハレズ。口唱ヲ怠ルハ信行ノユルム也。必ず災害来タラントス。」(開導要決)
一向令唱題目というのが末法における法華経の修行ですから、どんなときでも口唱信行は怠つてはならないのであります。口唱に励んで仏祖に喜んで頂き、口唱をつとめて、諸天のお護りを頂き、法悦の日々をおくるのが御信者の日常でなくてはなりません。

教えを弘められ、ご生涯に、なんと十一ヶ寺を建立されるなど法華経の現証ご利益を顕わしてのご弘通をされたお方です。
当宗は、蓮・隆・扇三祖一轍の教えと申し、高祖日蓮大士の教えを門祖聖人が承け継がれ、開導聖人は門祖聖人の教えを継承されました。
このように、法華経本門八品の教えが脈々と継承され、現在に至っております。

殊に、門祖聖人は、お祖師さまご入滅後、日蓮門下がお祖師さまの教えを勝手に解釈したために、高祖のご本意が見失なわれそうになったところを、もとの正しく、清い教えにもどされました。
又、門祖聖人は、ご生涯に三千余帳という膨大な著述も残され、弟子教育にもご尽力されました。
開導聖人は、門祖聖人のご事蹟からご教歌
此君のいまさざりせば
遠つおやの
清きながれを
誰かくままし

二月十一日(日)
東京中央布教区終日口唱会
於 本信寺
東京中央布教区の終日口唱会が、二月十一日(日)午前十時より、途中正午に休憩が入り、午後四時まで実施されます。
当山からは、弘通車を利

地震大国といわれるわが国は、いつ関東でも災害に遭うかわかりません。皆様の温いお志しを寄せあい、少しでも早く被災地の復興を祈りましょう。

とお詠みになられ称讃されました。
本年最初のお会式で、寺内奉修ですが、門祖聖人への報恩の誠をささげざるべく、一人でも多くのお参詣に精進いたしましたしよ。

能登半島震災
募金のご協力願ひ！
すでにご披露のとおり、去る一月一日に能登半島を震源としておきた、大震災への被災地復興と、被災者救援を、宗門からも通達がまいります。当山は、寒参詣初日から、本堂に募金箱を設置し、又、各御講席においても募金活動が始まっております。